2026年11月26日

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

LGBTQ+に関する取り組みを評価する「PRIDE指標2026」で最高評価の「ゴールド」を2年連続で受賞

職場におけるLGBTQ+など性的マイノリティへの取り組みを推進

サッポロビール(株)は、職場におけるLGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クィアまたはクエスチョニングなどの性的マイノリティ）に関する企業の取り組みに対する評価指標「PRIDE指標2026」において、最高評価の「ゴールド」を2年連続で受賞しました。

当社は、「全員が源泉。ちがいを力に、豊かな未来を開拓する。」という考えのもと、社内外でLGBTQ+に関するさまざまな取り組みを行ってきました。

2018年には、就業規則における配偶者の定義を改定し、「同性パートナー」にも配偶者と同等の社内制度を適用できるようにしました。また、2023年からは、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)を推進する外部団体とともに、定期的にLGBTQ+関連セミナーを実施し、社内の理解促進に取り組んでいます。2025年には、社内ALLY(アライ)コミュニティ(注1)を立ち上げ、定期交流会などを実施するとともに、6月を啓発月間として、グループ全社員がLGBTQ+関連書籍を社内で閲覧できる環境を整えました。

サッポログループは、「より豊かな未来を開拓する」という経営理念のもと、マテリアリティ(社会と企業の持続的な成長の両立に向け、優先的に取り組むべき重要な経営課題)のひとつに「多様な人財で開拓する組織」を掲げています(注2)。当社は、すべての人が差別や偏見にさらされることなく、自分らしく生きていくことができる社会の実現を目指して、LGBTQ+への理解促進に継続して取り組んでいきます。

(注1)LGBTQ+など性的マイノリティ当事者のことを理解し、支援のために行動する人々が集まったコミュニティ

(注2)サッポロビール中期経営計画2027-2030

■「PRIDE指標」について

「PRIDE指標」は、企業や団体がLGBTQ+にとって働きやすい職場づくりを実現するために一般社団法人「work with Pride」によって2016年に制定され、「Policy（行動宣言）」「Representation（当事者

コミュニティ)」「Inspiration（啓発活動)」「Development（人事制度・プログラム)」
「Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動)」の５項目から構成されています。
公式サイト： https://workwithpride.jp/